

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	都市計画課 担当課長 久保 智史	
まち-12	新交通システム等整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	都市計画課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	交通環境の整備

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	次世代型のモビリティを見据え、高齢者、障害者、子どもなど交通弱者に配慮し、すべての人にとって快適な移動環境を創造する。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

令和4年度は、既の実施しているアンケート調査結果の分析をはじめ、現況把握や課題の抽出・整理を基に、市民ニーズの掘り起こし、交通事業者の運行状況等の把握、生活サービスとの連携などにより、二階堂・浄明寺地区において新たな交通システムの導入をめざし、自立した持続可能なインプリメント運行の構築を目的とした検討を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	新交通システム等整備事業	新たなモビリティサービスの検討・運用業務委託等	新たな交通(移動)システムや手段を導入した地区数(地区)	0 / 2	7,704 / 8,319	3 / 3,667	
02				/	/	/	
03				/	/	/	
04				/	/	/	
05				/	/	/	
06				/	/	/	
07				/	/	/	
08				/	/	/	
09				/	/	/	
10				/	/	/	
		財源内訳	国県支出金	6,023 / 6,112		0	
			地方債	0 / 0		0	
			その他特定財源	0 / 0		0	
			一般財源	1,681 / 2,207		3,667	
			事業費の合計(千円)		7,704 / 8,319		3,667
			人件費(千円)			9,115	10,910

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.1	1.3	1.2	1.4		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	新交通システム等整備事業	指標設定しない(新たな交通システム等の整備にあたっては、計画作りなど中長期的な課題であることから指標の設定に馴染まないため。)	新しい交通システム等の整備は、基本計画で目標とする鎌倉らしい交通環境整備に必要な取組である。	新しい交通システム等の整備にあたっては、地域特性に応じた持続可能な仕組みを構築する必要がある。そのためには、利用者・住民、交通事業者等の関係各者間での十分な協議が必要となる
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-1 今後、市民等との協働による事業を検討すべき事業がある
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・市内各地域において、地域の高齢化等を理由に路線バスの「路線の新設」や「運行本数の増便」等のニーズが高まっている一方、交通事業者は運転手不足等から利用者・住民のニーズに対応できていないことから、新しい交通システム等の整備が必要とされている。</p> <p>・新しい交通システム等の整備にあたっては、地域特性に応じた持続可能な仕組みを構築する必要があり、利用意向を明確にし、本格運行に向けた枠組みを構築するために利用者・住民、交通事業者等の関係各者との十分な協議を行いながら導入準備を進めてく。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	新たな交通(移動)システムや手段を導入した地区数						単位	地区
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
交通不便地域の解消など、交通弱者に配慮した快適な移動環境を創造するため、新たな交通(移動)システムの導入を目指しているため。	目標値	0	1	2	3			
	実績値	0	0	0				
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--